

事例・教材 車でゴーゴー，お買い物

狙い・ターゲット：記憶ゲームです。言われたことを記憶するのが難しいお子さん、ものの名前を覚えはじめたお子さん、絵カードと物のマッチングやカテゴリー分類をそろそろ開始したいお子さん、道路や線路の組み立てや空間の把握が困難なお子さん、全体を見渡せず狭い範囲しか目が行かないお子さん、車にちなんだおもしろなら興味をもって遊んでくれるというお子さん向けの遊びです。



写真①



写真②



写真③



写真④

使用教材

- ・道路パズル (写真①)。道路が書かれているレジャーシートのようなマット。無ければプラレールなどの線路でも代用可。(車や電車は状況により出さなくても良いです。車を出すとそれだけを動かして終わってしまいそうなお子さんには出さない方が良いでしょう・・・)
- ・お店ボード(画像のものはダイソーで見つけました。1店舗100円です。)
- ・お店に並べる商品。イワコーの消しゴムのような面白消しゴム。パン類、野菜、果物、おもちゃ、お寿司など何でも。
- ・買った物を入れるかご。
- ・買い物リスト (写真④。お店によって絵カードの色紙を変えてあげると、どのお店に売っているか分かりやすいので初期段階のお子さんにおすすめです。ここでは八百屋で売っている物は水色、パン屋で売っている物はワインレッド、お寿司はグリーンの色紙を使っています。)
- ・徐々に記憶の容量が増してきたら、ショッピングリストはS Tのみが持ち、答え合わせの時に使いましょう。

内容、方法

- 1) 道路ジグソーまたはプラレール線路などを組み立てます。(これらの遊びに慣れていないと、道路ピースを2つ繋げただけで「出来た!」というお子さんもいらっしゃいますが、「この車が一周出来るようにつなげてみよう」、「この机の上全部使っているからね」などと道路を広げる範囲を示してあげましょう。
- 2) お店を配置し、売り物を置きます。ここで使用しているお店は八百屋、パン屋、寿司屋です。
- 3) お店屋さんごっこを始めます。声かけ例：「夕飯作るからお遣いお願いしま〜す。なす2本と鮭の寿司2個、イクラの寿司2個、買ってきて下さい。」買う物を全部伝えてから出発させるようにしてください。
- 4) 自宅の場所を決め、そこから出発してもらいます。何をかうか覚えてもらえないお子さんには最初は写真④のようなメモカード (お子さんに合わせて写真付き、または文字のみ) を持たせましょう。徐々に買い物リストカードを減らし、覚えることにも意識を向けていきましょう。どうやって動けば良いか分からない様子のお子さんには、「イクラ寿司はどのお店で売っているかな?お寿司屋さんに行ってみようか?」と言ってあげましょう。
- 5) 「買い物してきたよ!」と言って戻ってきたら、答え合わせをしてみましょう。足りないものがあつたらもう一度その商品を買に行ってもらいましょう。

方法(補足)

- 何がどこに売っているか分からない、というお子さんには、分類ボードを用意してあげるとよいでしょう。写真④ではお店ごとに色分けをした絵カードを用意しています。
- このレベルはあっさり出来てしまったお子さんには・・・「この葉書をポストに投函した後、お寿司を買ってそれをおばあちゃんの家を持って行って上げてね。」など買い物以外の用事も入れるなど色々応用が出来ます。ポストを探したり、おばあちゃんの家を探したりする、というのは全体を見渡す力も身に付きますね。場所をさがしている間に、頼まれたことが記憶から吹っ飛んでないかどうかも見たりできます。買い物と全く関係ない細部にばかり目が行ってしまうお子さんにもお奨めです。道路に描かれたマンホールや鳥を見つけて喜んじゃう子って結構いますからね(笑)。細部に目が行く子が力を発揮できる遊びに変身するかも？！
指示されたことに注意を向ける練習になります。
- もう一つ応用編です。野菜とパンとアイスクリームを買ってくるようお願いしたら、「アイスクリームは最後に買わないと途中でとけちゃうから一番最後に買った方がいいよね。」と買う順番を決め、考える力を養ったり、行ったり来たり同じ所を何度も通らなくて済むように近い所から用事を済ませていく、など一緒に計画を立てる練習なども出来ると思います。
- 最後に、指示を聞いたか聞けてないか、言われたことをいくつ覚えていられたか、ばかりに注目せず、買い物ごっこをお子さんと一緒に楽しんでくださいね。